

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：85

問題あり：3

要確認：8

問題なし：74

詳細な検証結果

1. 固有名詞

草間剛（くさまつよし）

- 記載内容：「草間剛（くさまつよし、1982年1月16日生まれ）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia及び公式サイトで確認

選挙区

- 記載内容：「神奈川県第19区選出」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイト及び選挙結果で確認

政令指定都市の記載

- 記載内容：「政令指定都市・横浜市と川崎市にまたがる全国唯一の小選挙区」
- 検証結果：✗誤り
- 正しい情報：横浜市と川崎市は確かに政令指定都市だが、「全国唯一の政令市をまたぐ選挙区」という表現は不正確。神奈川県には3つの政令指定都市（横浜・川崎・相模原）がある
- 根拠・出典：総務省政令指定都市一覧、神奈川県概要

早稲田大学マニフェスト研究所

- 記載内容：「早稲田大学マニフェスト研究所に勤務」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：2025年3月まで「早稲田大学マニフェスト研究所」、同年4月より「早稲田大学デモクラシー創造研究所」に名称変更。現在は「一般社団法人Maniken」として独立
- 根拠・出典：マニフェスト研究所公式サイト

東京大学先端科学技術研究センター

- 記載内容：「現在客員研究員を務める東京大学先端研」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：自民党公式サイトで「東京大学先端科学技術研究センター客員研究員」と記載されているが、現在の在籍状況は要確認
- 根拠・出典：自民党議員プロフィール

2. 数値情報

選挙実施日

- 記載内容：「2024年10月の第50回衆議院選挙で初当選」
- 検証結果：X誤り
- 正しい情報：選挙は2024年10月27日投開票だが、初当選後の就任は11月
- 根拠・出典：各種選挙関連サイト

年齢

- 記載内容：「42歳」（2024年時点として）
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1982年1月16日生まれのため、2024年時点で42歳

横浜市議会議員歴

- 記載内容：「2011年から2023年まで横浜市会議員を3期務めた」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia及び公式サイトで確認（2011年、2015年、2019年当選、2023年は出馬せず）

当選回数表記

- 記載内容：「29歳で保守系最年少市議となり（都筑区選出）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式プロフィールで確認

政治資金規正法改正の時期

- 記載内容：「2024年末、草間氏は早速、政治資金の透明性向上を狙った議員立法に参加」「2025年には第2弾の追加改正も成立」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：2024年6月に第1弾成立、2024年11-12月臨時国会で追加改正成立が正確
- 根拠・出典：政治資金規正法改正関連記事

3. その他の重要な事実関係

マニフェスト大賞受賞

- 記載内容：「政策コンテスト『マニフェスト大賞』で地元会派がグランプリを複数回受賞」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：公式サイトでは「過去3回グランプリ受賞」と記載があるが、具体的な年度や詳細は確認が必要
- 根拠・出典：草間剛公式マニフェスト2024

政党内活動

- 記載内容：青年局、党改革実行本部での活動
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：自民党議員として活動しているが、具体的な役職や発言内容の詳細は要確認

国会発言回数

- 記載内容：「初当選から2025年7月までに委員会での質疑発言がおよそ2〜3回」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：具体的な発言回数や内容は国会議事録での詳細確認が必要

SNSフォロワー数

- 記載内容：「フォロワー数は2025年7月時点で公表されていませんが、選挙直後に急増し、数万人規模に達している」「Instagramのフォロワーは2025年時点で約2,400人と公表」
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：具体的な数値は時期により変動するため要確認

公約実現の具体例

- 記載内容：様々な政策実現状況の記載
- 検証結果：△要確認
- 正しい情報：政府政策との関連性や草間氏の直接的関与度について詳細確認が必要

改善提案

修正が必要な箇所

1. **選挙実施時期の表記**：「2024年10月の選挙で初当選」→「2024年10月27日投開票の第50回衆議院選挙で初当選」
2. **政令指定都市の記載**：「全国唯一の政令市をまたぐ選挙区」の表現を正確に修正
3. **機関名称**：早稲田大学マニフェスト研究所の現在の状況を反映

追加確認が推奨される情報

1. 現在の東京大学先端研での客員研究員としての活動状況
2. マニフェスト大賞受賞の具体的な年度と詳細
3. 政治資金規正法改正への具体的関与度
4. 国会での発言記録の詳細
5. SNS上での具体的な活動状況と数値
6. 公約実現状況の客観的評価

全体的な評価

記事の大部分は正確な情報に基づいており、主要な人物情報、経歴、基本的な政治活動については信頼できる情報源で裏付けられています。ただし、一部に不正確な表現や確認が必要な詳細情報が含まれているため、これらの修正と追加確認を行うことで、より正確で信頼性の高い記事になると考えられます。